

12. 高温・熔融セラミックの測定

高温に熱せられ溶けたセラミックのレベルをライン上で連続して非接触で測定できます。

測定原理

シールドされた電極を熔融セラミックの上に離して設置します。

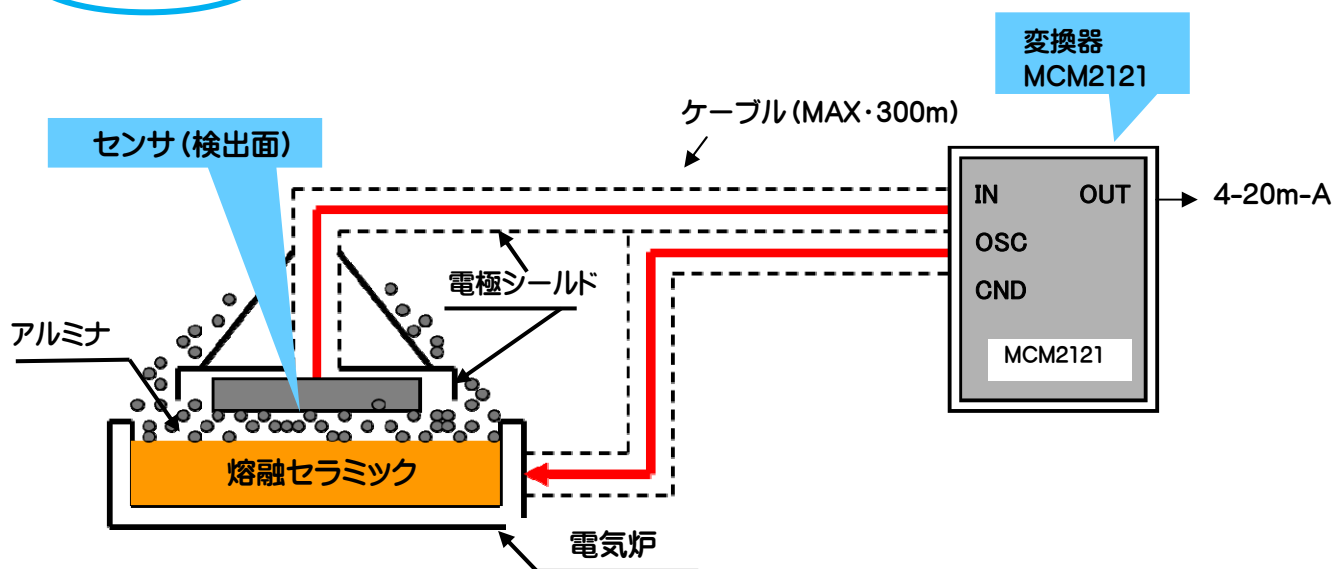
電極と熔融セラミックとの空間の電気特性を測定します。

それが電極と熔融セラミックとの距離です。

マイスターシリーズは電極頭部に電子回路を必要とせず、300m離れた所に設置でき、ケーブルの静電容量の影響を受けずに測定可能です。

プローブ頭部が高温に晒されても熔融セラミックまでの距離を測定できます。

機器構成



使用方法

プローブ

→ 高温に耐えるように、材質・熱膨張等を特殊設計します。

使用ケーブル

→ 2芯個別シールドを、300m以内で使用します。
また、端子位置が高い時は高温用ケーブルを使用します。

変換器

→ 万能電極式レベル計として開発された、マイスターMCM2121を使用します。